

- 2年連続の東北地方での大雪被害を受け、東北農政局・本省、東北各県、農研機構が3回にわたり議論。
- **雪害に強い栽培方法の導入**について、**りんご**については労働生産性が高く**雪害にも比較的強い省力樹形の導入を促進**し、**日本なし**については、耐雪性等を確認するための**実証試験**を実施。また、**降雪前後の技術的対策**を推進し、各県における技術的対策に活用できるよう「**技術的対策カタログ**」も整理。
- **苗木の供給力強化**について、**農水省**において**苗木の需給状況調査**を行い**情報提供**するとともに、**各県内**においても、必要に応じ、**苗木の需給について検討**し、農水省において県域を超えた苗木のマッチングを後押し。**生産者自身で苗木を生産する取組等**を促進。

現状・課題

今後の取組の方向性

りんご

・大雪により大きな被害が生じ、山間地の園地や老齢樹などでは被害が相対的に多く見られた。
 ・省力樹形は労働生産性が高く、雪害にも比較的強いとの知見が蓄積。
 ・地形・傾斜、生産者の高齢化、資材の導入費用等により、省力樹形を直ちに導入することが難しい園地も存在。

- 各県において、**降雪前後の技術的対策**（枝の固定、支柱の設置、早期除雪等）の周知・指導を重点的に実施。
- 平坦でまとまった園地や雪害のリスクが高い老齢樹等が多い園地では、**省力樹形の導入**や**園地更新**を推進。
- 山間地で狭い園地等、省力樹形の導入に課題のある園地では、各県の試験場が農研機構の助言を受け、**園地の特性に応じた対応**を検討。
- 技術的対策について「**技術的対策カタログ**」として整理し活用。

なし日本

・雪害に強い栽培方法の知見がほとんどない一方、雪害を契機として、新しい樹形の導入・実証に関心を示している産地もある。

- 秋田県試験場において、農研機構や同県関係機関の協力の下、**雪害に強い樹形の実証試験**を行うとともに、技術的対策を推進。

苗木

・農水省において、りんご苗木の需要量を調査。
 ・苗木業者からは、精度の高い需要量の見通しを望む声が挙がっており、苗木の安定的な供給には、苗木業者の生産量の判断に資するような需要量に関する情報提供が重要。

- 農水省において、全国の**品種別・栽培方法別の苗木の需給動向、在庫状況等**を調査し、各県を通じて苗木業者やりんごの生産者へ**情報提供**。
- 各県において、必要に応じ、**苗木の需給について検討**を行い、農水省・農研機構が協力。
- 農水省において、**県域を超えた広域での苗木のマッチングを後押しする相談窓口等**を設置。
- 各県において、りんごの**生産者自身による苗木の生産**や、**暫定的に苗木を養生する技術・事例**を周知する研修会等の開催を検討、農研機構が協力。